

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社スペース			コード	9622
提出日	2026/3/10	異動（予定）日	2026/3/25		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため				
☐ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／ 社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の 同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	和田良子	社外取締役	○													○		有
2	田口聡志	社外取締役	○													○		有
3	嶋田博子	社外取締役	○													○		有
4	小田浩子	社外取締役	○													○	新任	有
5																		

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1		大学教授として実験経済学及び行動経済学等を研究しております。経済学の専門家として経済・産業に関する豊富な経験と見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものとして選任しております。また、独立性の基準及び開示加重要件のいずれにも該当しておらず、一般株主との利益相反が生ずる恐れが無いと判断し、独立役員として指定しております。
2		大学院教授として会計学を研究するとともに、株式会社GTM総研の取締役を務め、公認会計士として財務・会計に関する見識を有しております。会計の専門家として豊富な経験と見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものとして選任しております。また、独立性の基準及び開示加重要件のいずれにも該当しておらず、一般株主との利益相反が生ずる恐れが無いと判断し、独立役員として指定しております。
3		中央官庁にて公務員の人事政策の立案・執行、民間や海外との比較調査などに携わり、現在は大学院教授として人事政策論の教育・研究に従事しております。人事の専門家として豊富な経験や見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものとして選任しております。また、独立性の基準及び開示加重要件のいずれにも該当しておらず、一般株主との利益相反が生ずる恐れが無いと判断し、独立役員として指定しております。
4		セントラル法律事務所パートナー及び他社の取締役を務め、弁護士として企業法務に関する幅広い見識を有しております。法律の専門家として豊富な経験と見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものとして選任しております。また、独立性の基準及び開示加重要件のいずれにも該当しておらず、一般株主との利益相反が生ずる恐れが無いと判断し、独立役員として指定しております。
5		

4. 補足説明

- ※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。
- ※2 役員の属性についてのチェック項目

a. 上場会社又はその子会社の業務執行者

b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）

c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役

d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）

e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者

f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者

g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者

h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家

i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）

j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）

k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）

l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。
- ※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。
- ※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。
- ※5 独立役員の選任理由を記載してください。